

トライアル・マーキング

教示：「数字からひらがなへ順番通りに線で結んで下さい。ここから始めて(“1”を指す)、“1”から“あ”へ、そして“2”へと線を描いていってここで終わって下さい」(“お”を指す)

採点：線が交差することなく“1-あ-2-い-3-う-4-え-5-お”の順に結ぶことができたなら1点を与える。直後の自己修正以外のエラーがある場合には0点となる。

図形描写(立方体)

教示：「これ(“立方体”を指す)を出来るだけ正確に、下のスペースに書き写して下さい」

採点：正確に描くことができていたら1点を与える。以下の条件を1つでも満たしていない場合には0点となる。

- ・3次元として描かれている
- ・全ての線が描かれている
- ・余計な線が加えられていない
- ・線の並行関係が保たれており、それら長さが類似している
(四角柱となっている場合は問題ない)

時計描画

教示：「時計を描いてください。文字盤に数字を全て描き、11時10分を指すよう針を描いて下さい」

採点：次の3つの基準で採点を行い、それぞれに対して1点を与える。

- ・輪郭(1点)：時計の文字盤が円形であること。わずかな歪みであれば問題ない。
- ・数字(1点)：数字が過不足無く描かれていること。正しい順番であり、かつ正しい位置に描かれていること。
数字がローマ数字であっても問題はない。
- ・針(1点)：長針、短針ともに正しい数字を指していること。短針は長針よりもはっきりと短くなくてはならない。2つの針が文字盤の中心でつながっていること。それぞれの基準において、条件が満たされていない場合には0点となる。

命名

教示：「この動物の名前を教えてください(左から順に指していく)」

採点：動物の名前を正しく言えればそれぞれに対して1点を与える。

(1) ライオン (2) サイ (3) ラクダ

記憶

教示：「これから記憶の検査をします。今から単語をいくつか読み上げるので、それをよく聞いて覚えておいて下さい。私が読み終わりましたらその時に覚えている単語を私に教えて下さい。順番は気にしなくて構いません」

(1秒につき1つのペースで単語を読み上げる。対象者が全ての単語を再生するか、それ以上再生できなくなったら次の教示を与える)

「同じ単語を読み上げるので、もう一度それを覚えてみて下さい」

私が読み終わりましたら、最初に覚えた単語も含めて、その時に覚えている単語を全て教えて下さい」

(再び単語を読み上げ、対象者が再生した単語について“第2試行”の欄にチェックを入れる。対象者が全ての単語を再生するか、それ以上再生できなくなったら次の教示を与える)

「検査後、これらの単語をもう一度思い出して下さい」

採点：第1試行、第2試行とも得点は与えない。

注意

数復唱課題

教示：「これからいくつかの数字を読み上げます。私が読み終わりましたら、私と同じように繰り返して言って下さい」

(5つの数字を1秒につき1つのペースで読み上げる)

逆唱

教示：「それでは、またいくつか数字を読み上げます。今度は私が読んだ順番と逆から繰り返して言って下さい」

(3つの数字を1秒につき1つのペースで読み上げる)

採点：正しく繰り返すことができたならそれぞれ1点を与える

(逆唱では2-4-7が正答)

ひらがなの読み上げ

教示：「これからひらがなを読み上げていきますので、私が“あ”と言うたびに手を叩いて下さい。私が“あ”以外のひらがなを言う時には、手を叩かないで下さい」

(検査用紙に書かれたひらがなを1秒につき1つのペースで読み上げる)

採点：エラーが1回以下の時に1点を与える。

(エラー：“あ”の時に手を叩かない、他のひらがなの時に手を叩く)

計算 (100から7を引いていく)

教示：「私が“止め”というまで100 から7を順に引いていって下さい」

(必要であればこの教示を 2 回与える)

採点：3点満点で採点を行う。

正答がない時には 0 点

正答が1つの時には1点

正答が2つから3つの時には2点

正答が4つか5つの時には3点

100 から7を減算していく際のそれぞれの計算において正誤を判断する。

例えば1目の計算が間違っている場合、2回目の計算において正しく7が引かれていれば、2回目の計算は正答とする。

(例、1回目は $100 - 7 = 90$ 、2回目は $90 - 7 = 83$ ならば2回目は正解)

言語復唱課題

教示：「これから文章を読み上げます。私が読んだ後に正確に繰り返して下さい」

(間をとる)

「太郎が今日手伝うことしか知りません」

対象者が繰り返した後に次ぎの教示を与える

「それでは、もうひとつ文章を読み上げます。先ほどと同じように正確に繰り返して下さい」

(間をとる)

「犬が部屋にいるときは、猫はいつもイスの下にかくれていました。」

採点：それぞれの文章を正しく復唱できていれば 1 点を与える。

復唱は正確でなければならない。

(言葉を省略するなどの細かいエラーにも注意を払う)

語想起課題

教示：「これから私が言うひらがなで始まる言葉を出来るだけたくさん言って下さい。言葉であれば何でも構いません。時間は1分間です。準備はよろしいですか？」

(間をとる)

「それでは“か”で始まる言葉を出来るだけたくさん言って下さい」

(60 秒計測して)「止め」

採点：言葉を11個以上生成出来れば1点を与える。対象者の生成した語は下部もしくは側部の余白に記録し、生成した総数についてもカウントする。

抽象概念

教示：単語のペアに共通するものを表す言葉をたずねる。例題から始める。

①「“バナナ”と“ミカン”はどのように似ていますか？」

もし対象者が具象的な共通部分を挙げた場合には一度だけ次の教示を与える。

「他の言い方はありませんか？」

①に対して対象者が適切な反応(果物)をしなかった場合には次の教示を与える

「そうですね、また両方とも果物でもあります」

(他の教示や明確な説明は与えない)

(例題実施後)

「それでは“電車”と“自転車”はどのように似ていますか？」

(回答後に次の問いを与える)

「それでは“ものさし”と“時計”はどのように似ていますか？」

(追加の教示や手がかりは一切与えない)

採点：それぞれの問題で次のような適切な反応が得られれば1点を与える。

電車-自転車＝交通手段、旅行の手段、乗り物

ものさし-時計＝測るもの、計測に使用するもの

遅延再生

教示：「先ほどいくつかの単語を覚えて頂きました。今憶えている単語をできるだけ私に教えて下さい」

手がかりのない状態で憶えていたものとして“自由再生”の欄にチェックを入れる

採点：手がかりなく再生できた単語それぞれに1点を与える。

遅延自由再生に続き、再生できなかった単語について、“意味手がかり(カテゴリ)”を与える。“意味手がかり(カテゴリ)”によって再生できた場合は“意味手がかり(カテゴリ)”にチェックを入れる。

“意味手がかり(カテゴリ)”を与えても再生できなかった場合は、“多肢選択”として教示を与える。“多肢選択”によって再生された場合は“多肢選択”にチェックを入れる。

採点：“意味手がかり(カテゴリ)”と“多肢選択”で再生できた単語には点数を与えない。

顔：“意味手がかり(カテゴリ)”→身体の一部
“多肢選択” →口、顔、手

絹：“意味手がかり(カテゴリ)”→生地
“多肢選択” →絹、麻、木綿

神社：“意味手がかり(カテゴリ)”→建物
“多肢選択” →神社、学校、病院

百合“意味手がかり(カテゴリ)”→花
“多肢選択” →バラ、百合、椿

赤：“意味手がかり(カテゴリ)”→色
“多肢選択” →赤、青、緑

見当識課題

教示：「今日の日付を教えてください」

(対象者の回答が完全でない場合には次の教示を与える)

「今日は何年、何月、何日、何曜日ですか？」

(回答後に次の教示を続ける)

「それではここは何市(区・町)ですか？」

(回答後に次の教示を続ける)

「それではこの場所(建物)の名前は何ですか？」

採点：正しく回答できた項目それぞれに1点を与える。